

The Graduate

2016



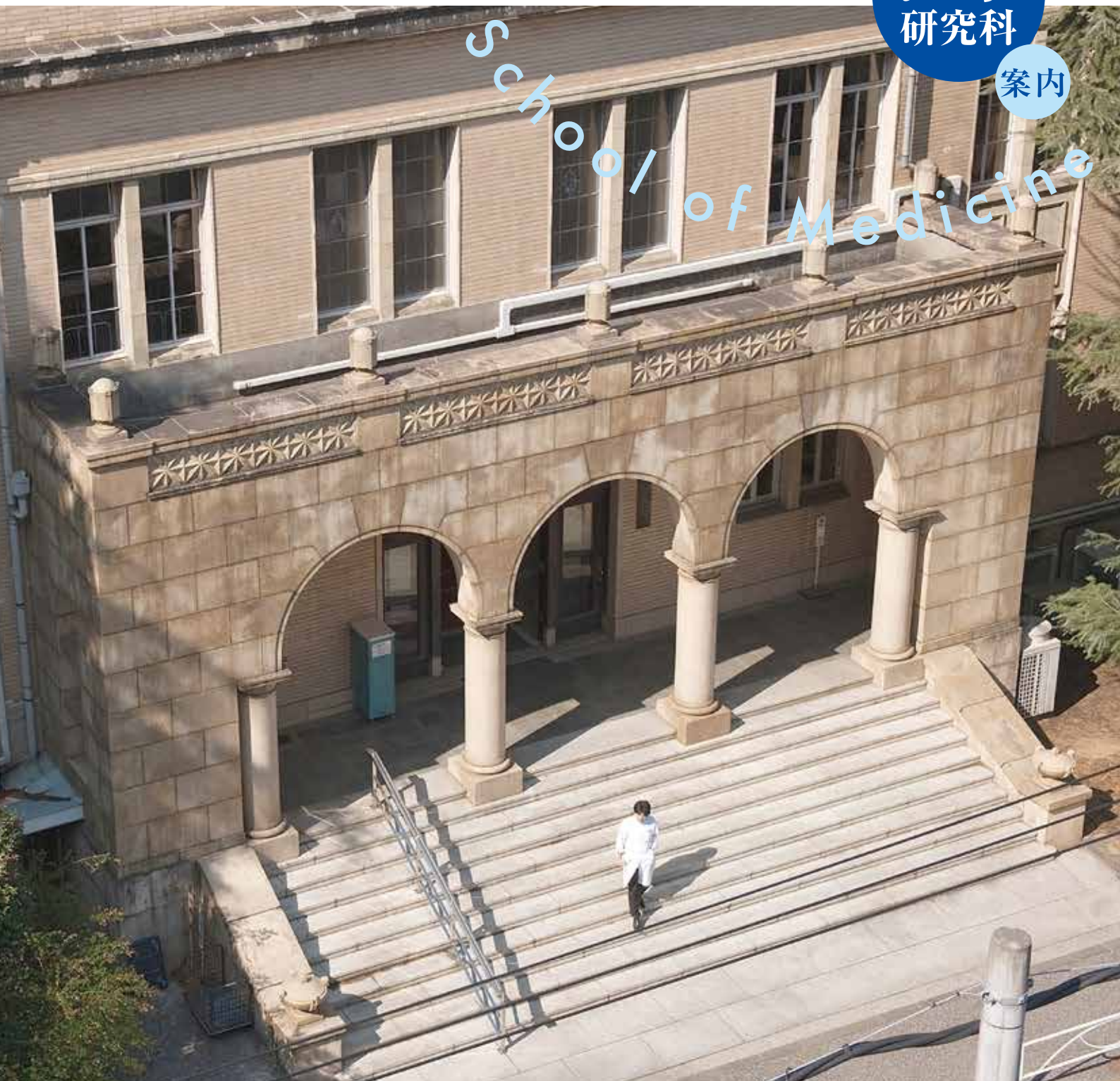
慶應義塾大学大学院

The Graduate School of Medicine Keio University

医学
研究科

案内

School of Medicine



未来の医学を切り開く 世界トップレベルの人材育成を 目指して



医学研究科委員長 河上 裕

遺伝子・細胞科学研究を中心とした生命科学・基礎医学とそれに基盤をおいた先端医療、さらにはMRI、PETなど医療関連機器開発の飛躍的發展と呼応し、医学研究や医療技術が急速に進展する一方、我が国では医療制度の危機が叫ばれ、医師初期研修の必修化等、大学の医学部や病院を取り囲む状況は、現在加速度的に変化しています。今こそ私達医学研究科は、様々な医学分野の専門家を育成し、時代の要請に応えるべく、学際性と国際性を高め、世界最高水準の医学研究を推進する人材の育成を行っていきたいと思います。

本医学研究科を取り巻く環境も変化しており、慶應医学の祖である北里精神、すなわち「基礎医学と臨床医学の連携を緊密にし、学内は融合して一家族の如く」の信条に立脚した、基礎・臨床一体型の研究体制が益々軌道にのって盛んになり、臨床系の大学院生も信濃町キャンパス総合医科学研究センター等の優れた研究施設を十分に活用し、基礎教室と臨床教室の共同研究の成果が発表される機会が増えました。また、平成24年度以降、国立がん研究センター、静岡県立静岡がんセンター、国立病院機構東京医療センター、神奈川県立こども医療センター、理化学研究所国際医療研究センター、榊原記念病院との連携大学院も本格的にスタートし、臨床の各診療科の枠をこえ、基礎・臨床の英知を結集させた質の高い医学専門家を育成しようという機運も高まっています。さらに、外国と比較して臨床研究が弱いとされる我が国において、New England Journal of Medicineに掲載されるような優れた臨床研究をデザインし、推進できる人材を養成することも急務です。

このような時代の流れの中、医学研究科博士課程は平成21年4月より、基礎・臨床を融合してひとつの学問体系として発展させた「医学研究系専攻」と、がんプロを代表する臨床研究のプロ育成を目指した「医療科学系専攻」の2専攻体制に新しく生まれ変わりました。平成6（1994）年に開設された修士課程では、医学部以外の出身者にも門戸を広げています。そして、優秀な人材を世界中から集めるためにも平成28年度博士課程入学者から学納金値下げを断行することにしました。

医学研究科は、たゆまぬ努力により、世界トップレベルの研究業績をもつファカルティメンバーの下で発展を遂げております。

近年、国際的な一流誌に掲載された論文で学位を取得する大学院生も増えています。海外一流大学の大学院と大学院生レベルでの相互の人材交流を活発化し、大学院講義の英語化など、大学院生にとっても、教員にとっても、世界を股にかけた武者修行が出来る、まさに世界最高峰の医学系大学院の教育・研究体制の構築を進めています。未来の医学の先導者達よ、いざ集まれん！

医学研究科

Index

研究科委員長の挨拶	02
アドミッション・ポリシー カリキュラム・ポリシー ディプロマ・ポリシー	04
指導方針と育成する人材像 研究設備	05
英語による最先端のセミナー 医学研究科における国際交流	06
がんプロフェッショナル養成基盤推進 プラン	07
教員紹介	08
院生の声	17
奨学金案内	18
学位授与数(修士・博士)	19
キャンパス案内	



医学研究科ホームページ

<http://www.med.keio.ac.jp/graduate/index.html>



The Graduate School of Keio University



The Graduate School of Medicine Keio University



慶應義塾大学大学院
医学研究科

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

医学研究科案内ホームページ
<http://www.med.keio.ac.jp/graduate/index.html>